

「令和５年度 袋井市議会報告会」の実施結果

１ 概要

市民「事前申込者」対象の議会報告会（意見交換会）「フッピートーク2023～市議会議員と袋井市の未来を語ろう～」を開催した。

２ 開催場所、日時、参加者

- (1) 日 時 令和５年11月26日（日）午後１時30分から午後３時40分まで
- (2) 開催場所 袋井市教育会館４階 大会議室
- (3) 参加者 市議会議員 19人、市民（事前申込者） 40人 合計 59人

３ 実施内容

(1) 令和５年度の袋井市議会報告

ア 市議会の構成及び業務の説明

イ より開かれた議会を目指して、「広報広聴委員会の設置」を行った。

ウ 更なる議会の活性化を実現するため、昨年に引き続き、議会活性化特別委員会で継続した検討を行っている。

(2) テーマ別グループトーク（意見交換）

各テーマ各２グループ（合計６グループ）に分かれて、参加者からテーマについて「袋井市の良いところ」「課題」「課題に対しての『提案』」の意見をいただいた。

テーマ１ みんなでできる防災・減災対策について

テーマ２ 未来の学校部活動について

テーマ３ 地域の魅力を活かした「稼ぐ力」について

４ アンケート結果及び意見聴取結果

別紙のとおり

5 総括

昨年度に引き続き市民を対象とした議会報告会（意見交換会）を開催した。

別紙のアンケート結果により、参加者からは議会報告の内容が「わかりやすかった」が22人/34人（64.7%）、意見交換（グループワーク）に参加して「よかった」が29人/34人（85.3%）との回答を得られたことは、議会報告会（意見交換会）としての役割を概ね果たせたものと考えられる。

しかし、参加者の年齢層が60代、70代で61.7%を占め、若年層が少なく特に30代が皆無であった点、フッピートークの開催を何で知ったかなど周知方法にも偏りがあった点参加者の意見として「テーマが大きすぎる」、「しばらく同じテーマで進めたい」、「今回のテーマを深堀したい」などがあった点などは、今後の課題として委員会で検討すべきである。

また、市民参加の議会報告会（意見交換会）でいただいた「防災・減災に関して意識づくりの強化、訓練のバリエーションを増やす」、「学校部活動に関してクラブチームへの支援金、多様な運営とサポート体制作り」、「地域の魅力を活かした「稼ぐ力」に関してICTを活用しての積極的なPR、6次産業品の開発」などのご意見・提案に関しては引き続き、議会から市政への提言及び各議員からの一般質問や委員会での検討を行うなどし、市政に反映されることを市議会としても今後も取り組んでいく必要性を感じている。

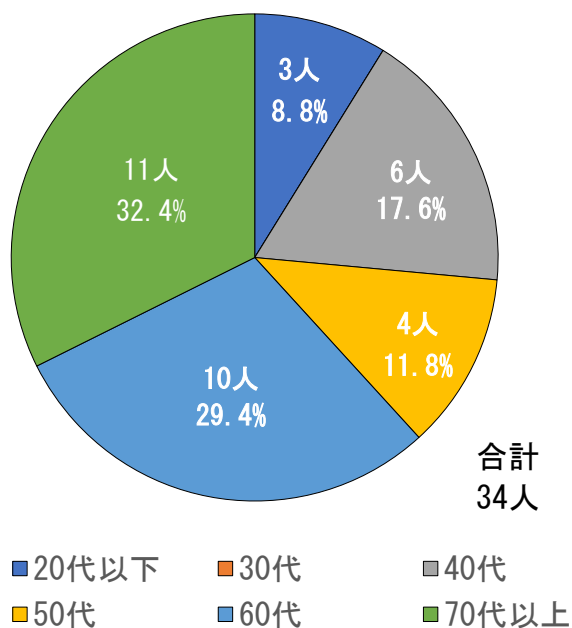
最後に、議員の資質についてのご意見もいただいているので、自己研鑽に努めて参ります。また、次年度以降も意見交換会を開催し、袋井市議会がより開かれた議会になるよう努めて参りますので、よろしくお願いいたします。

令和5年11月26日開催

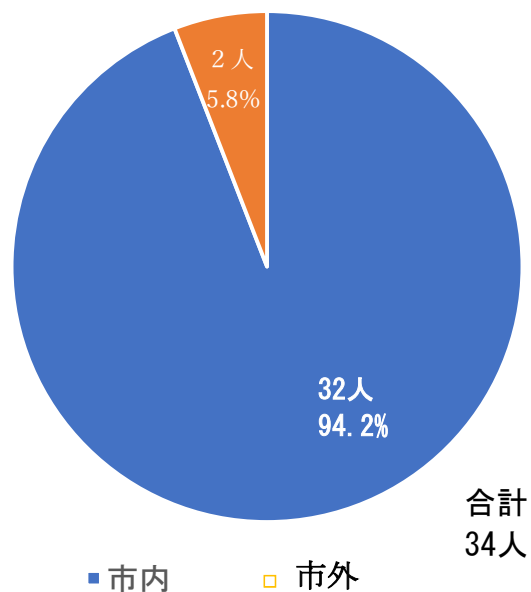
「フッピートーク2023～市議会議員と未来の袋井市を語ろう～」 アンケート結果

【参加者40人中34人（85.0%）が回答】

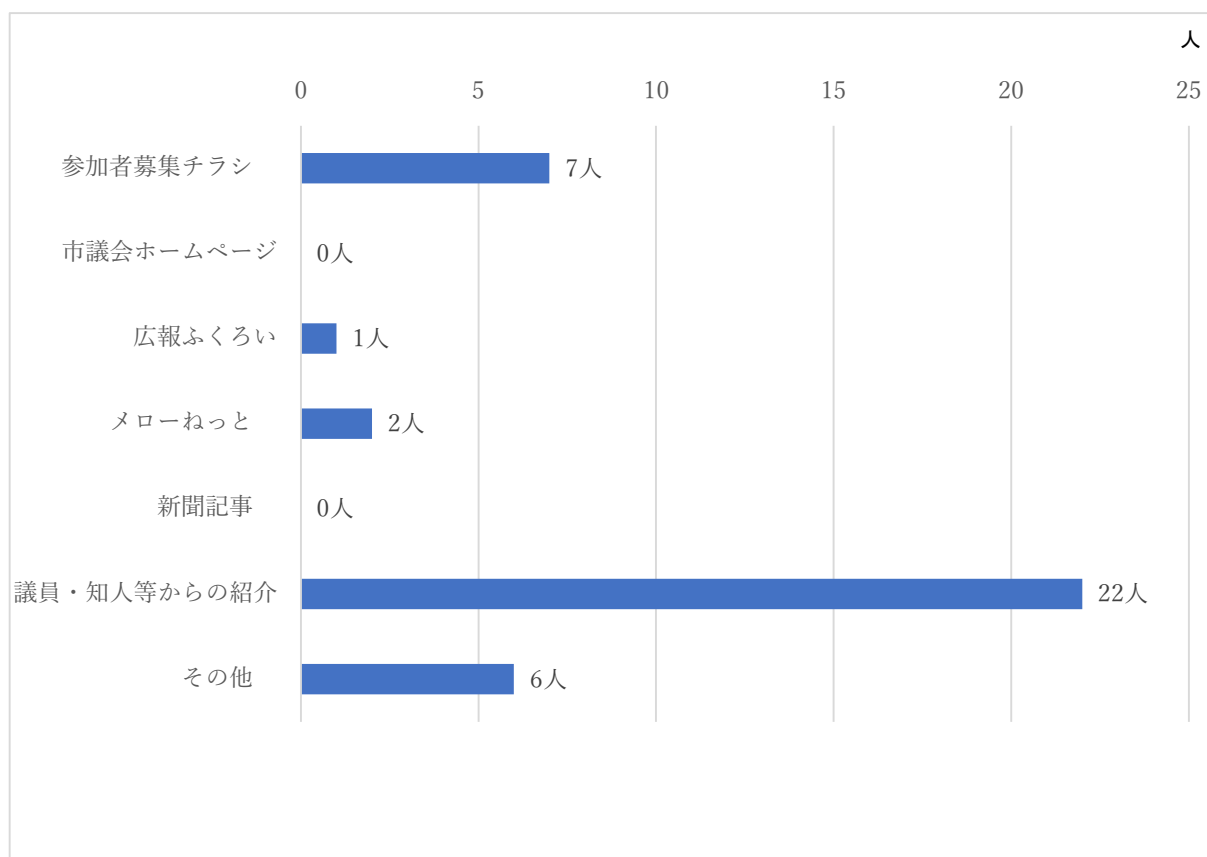
問1 あなたの年齢は。



問2 あなたのお住まいは。

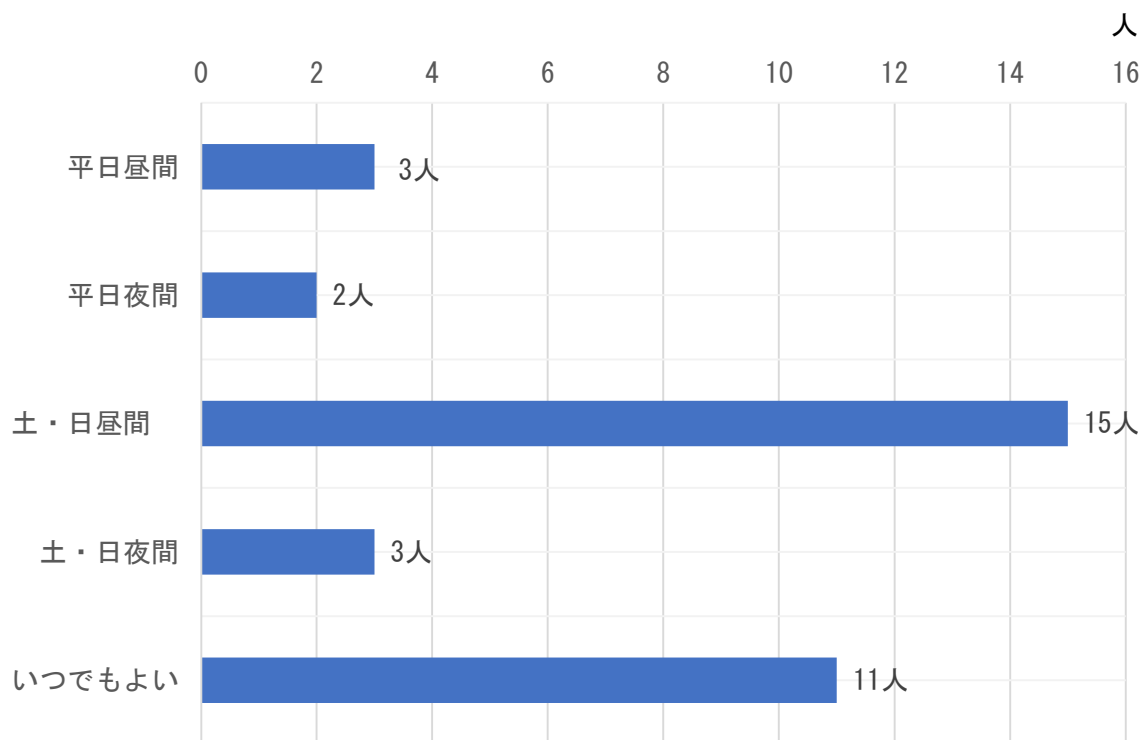


問3 今回の議会報告会（意見交換会）を何でお知りになりましたか。【複数回答あり】



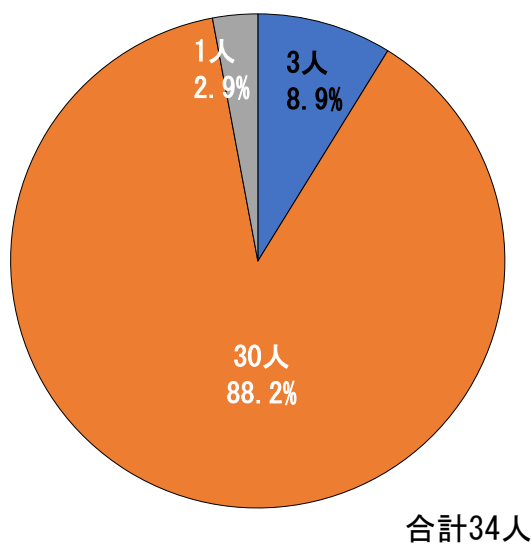
問4 今回の議会報告会（意見交換会）をどのように感じになりましたか。

(1) 開催日程（時間帯）は、いつがよいと思いますか。【複数回答あり】

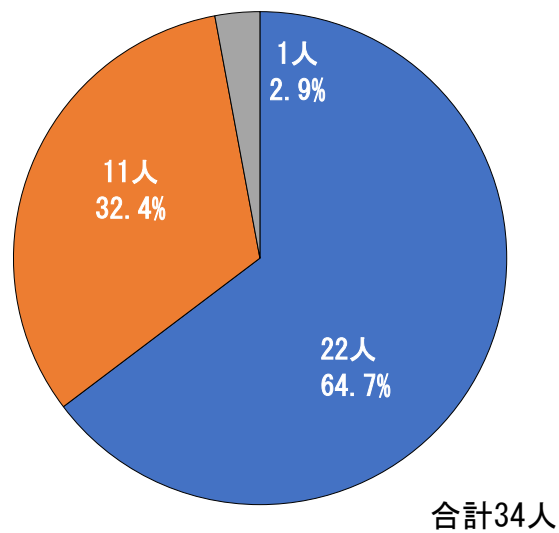


(2) 開催時間は、いかがでしたか。

(3) 議会報告の内容は、いかがでしたか。



- 長かった
- ちょうどよかった
- 短かった



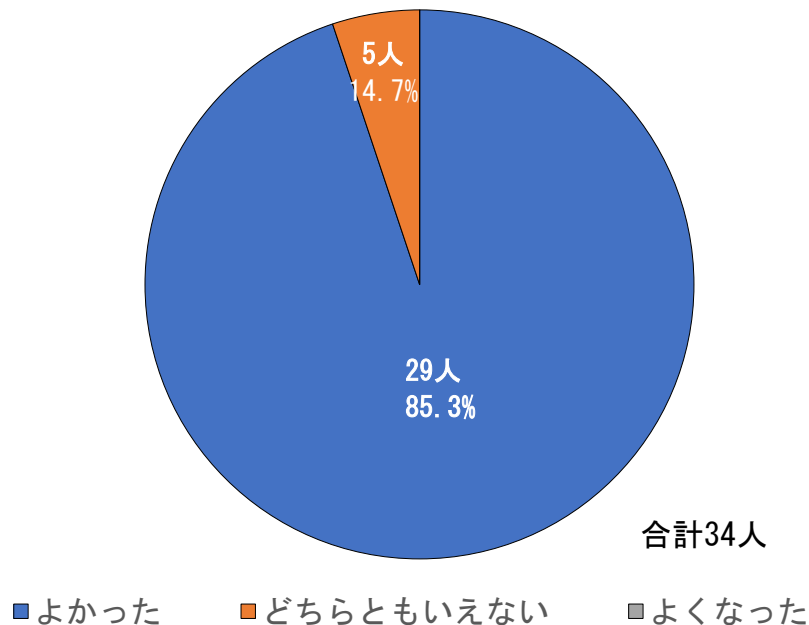
- わかりやすかった
- どちらともいえない
- わかりにくかった

議会報告のわかりにくかった点、見直した方がよい点を教えてください。

【原文そのまま】

- ・これを市長にも知ってもらい、議会で取り上げ、実践へと活用していただきたいと思います。
- ・動画にしたらどうでしょう。
- ・スライドの文字が小さくて見えない箇所があった。
- ・1 ページ内の文字数がもっと少ない方がわかりやすい。
- ・イラストや見出し文字が目立つとわかりやすい。
- ・突き抜けたアイデアのお話があった。（イメージ写真）
- ・効果のあったものの報告をお願いします。
- ・議員一覧表があると良かった。（一般市民は議員の顔も名前もほとんど知らない。）
- ・報告会内容がはっきりしなかった。
- ・具体的に何をやったのかわからなかった。

(4) 意見交換（グループワーク）に参加していかがでしたか。



意見交換（グループワーク）のよくなかった点、見直した方がよい点を教えてください。

【原文そのまま】

- ・前向きで良い雰囲気でした。
- ・いろんな年代の方の意見を聞けて良かった。

- ・発表に使うワークシートはテンプレートがあった方がより発表しやすい。
- ・発表時間が短い。
- ・話し合うにはテーマ（課題）が大きすぎる。
- ・女性の人数が少ない。
- ・年齢層をもっと広げてほしい。
- ・他地区の状況がわかって良かった。
- ・発表者が議員から一般市民になった点は良かった。
- ・議員のリーダーシップが良かった。
- ・お題目が具体的にしておくことやあらかじめテーマを絞って討議を進めるようにした方が良いのでは。
- ・意見交換中の放送はベルの方が良かった。（事前にベル1回、終了2回などの事前説明が必要）
- ・世代を越えて会話ができた。
- ・事前の説明が口頭で長すぎる。

(5) 議会報告及び意見交換の内容について、御質問がありましたら御記入ください。

【原文のまま】

- ・議会報告、ホームページはあまり見ない。
- ・休日の部活動が早く無くなると良いです。

問5 今後、意見交換を行う「テーマ」について、何か御要望がありましたら、御記入ください。

- ・財政運営
- ・袋井市のPR
- ・ゴミ処理問題
- ・ゴミ袋値上げ問題
- ・自動車を持たない世帯のゴミ出し、粗大ゴミの運搬
- ・避難所のキャパの拡充
- ・女性の活用・外国人との交流促進
- ・このような意見交換会はすばらしい、テーマは何でも良い。
- ・特殊詐欺対策

- ・不審者対策
- ・袋井の魅力を応用発展するにはどうしたらいいか。
- ・素財（素材）のブラッシュアップするにはどうしたら良いか。
- ・しばらく同じテーマで進めたい。
- ・防災、減災対策について、もう少し絞ったテーマ
- ・今回のテーマを深堀りしていきたい。

問6 袋井市議会に対する御意見、御要望等がありましたら、御記入ください。

【原文のまま】

- ・眠くても起きていてほしい。
- ・保護者の参加が少なかったので、多くした方が良い。
- ・子ども版フッピートークを夏休み等を開催してはどうか。
- ・缶バッジは処分に困るので、シール等で代用してはどうか。
- ・市民とのコミュニケーションを第一として行動して常に市民の意見を聞き出す。
- ・袋井市を住みやすく楽しい街にしていってほしい。
- ・パブリックコメントの機会を増やしてほしい。
- ・部活動の移行を進めてください。
- ・子どもたちも参加できると良いと思います。

フットトーク2023で出された意見のまとめ（意見聴取報告書より抜粋）

グループ1・2 参加人数 議員：6人 市民：13人

テーマ：みんなでできる防災・減災対策について

【意見交換会で出た課題に対しての提案】

『災害前』

- ・「自分の命は自分で守る」を基本として、各家庭において非常持ち出し品や家庭での備蓄品などの点検を強化し、意識づくりの強化を図る。
- ・災害弱者の支援として、各地域に「避難支援隊」の組織化を図る。
- ・災害弱者対策として、有事に備え、要支援者名簿の組織内での共有化の検討
- ・夜間訓練の実施など、訓練のバリエーションを増やす。
- ・防災隊の任期を1年ではなく2年～3年にして経験を積む。
- ・地域住民が誰でも対応できる訓練の実施
- ・中学生、高校生の参加者の拡大を図る。
- ・外国人居住者の防災訓練への参加について、地域や就労企業などと連携し、参加者の拡大を図る。
- ・地域性重視の情報の収集ができるようにする。
- ・地域の事例を市が紹介する。
- ・自治会でHUG（避難所運営ゲーム）を定期的に実施する。
- ・防災訓練時に中高生向けの講習を実施し、メローねっとの登録補助をしてもらう。
- ・女性防災隊員の拡充と育成を図る。

『災害時』

- ・「家族は全員無事です」というタペストリー全戸配布を市内に広める。
(浅羽北地区)

『被災後』

- ・河川の流れをよくするよう抜本的対策を考える。

【意見交換会にて市民よりいただいた、現状の良いところ】

『災害前』

- ・「避難支援隊」を組織し、「声掛けや避難所設営」を行うこととしている。
(下山梨自治会連合会)
- ・中学生なども参加し、地域一丸となって災害対応などの訓練等を行っている。
- ・治水対策などについて、静岡理工科大学、中部電力、地域が連携し、議論を行っている。
- ・地域の「いきいきサロン」などで、「HUGの実施」、「マイタイムライン」

「高齢者の自立」などについて定期的に説明や検討を行っている。

- ・非常用飲料水を確保するため、井戸水（簡易水道）の活用を行っている。
（下山梨地区）

- ・災害時避難要支援計画（個別）の作成が浸透してきた。
- ・地域防災訓練が充実してきた。（延久地区）
- ・全国の災害から防災への関心が高まってきた。
- ・南海トラフ地震に向けて各人が危機感を持っている。
- ・災害を想定して家具の固定が進んでいる。
- ・地域の避難所が明確になってきた。
- ・ペットボトル（水）の備蓄がある。

『災害時』

- ・ボランティア組織がある。

【意見交換会にて市民よりいただいた、課題】

『災害前』

- ・外国人居住者の安否確認や防災訓練の参加などが少数である。
- ・外国人居住者に対して、母国の言語による啓発等の検討が必要である。
- ・防災組織のシンプル化の検討が必要（企業などとの連携等）
- ・文化財などについて、地震や水害などから守る対策の検討が必要
- ・地域にあった避難指示などの対応に関しての検討が必要である。
- ・訓練のマンネリ化や各地域に見合った防災組織の検討が必要である。
- ・どう行動すべきかの知識がない。
- ・ハザードマップが必要である。
- ・要支援計画は作成しても有効な使い方ができていない。
- ・避難所の運営の仕方がわかっている人が少ない。
- ・多くの中学生・高校生・女性の防災訓練参加が必要である。
- ・原発災害時にどう対応するか、話し合いが必要である。
- ・河川に草木が茂って土砂がたまり、水害の懸念がある。（神長地区）
- ・期限切れのペットボトル飲料水の有効活用が望まれる。

『災害時』

- ・高齢者避難の実効性に疑問がある。
- ・発災時の生活がイメージできていない。
- ・支援や救済に携わる人材の把握と確保が必要である。
- ・太田川より西木川の氾濫が心配である。

『被災後』

- ・高齢化による生活再建の難しさがある。
- ・避難所はトイレの数が絶対的に不足している。
- ・ボランティア組織への依頼の仕方が知られていない。

フットボール2023で出された意見のまとめ（意見聴取報告書より抜粋）

グループ3・4 参加人数 議員：6人 市民：14人

テーマ：未来の学校部活動について

【意見交換会で出た課題に対しての提案】

- ・クラブチームに支援金を充てる。
- ・同じ部活ではなく、様々な体験ができるようにする。
- ・子ども達の考えを尊重していくことが大切である。
- ・外部委託に係わる費用の負担軽減のため、国や県が支援する。
- ・多様な価値観に応じた多様な選択肢と多様な運営とサポート体制作り。
- ・希望する部活が自校にない場合は、他校（他地域）にも入部できるようにする。
- ・交通手段に係る費用は無料化にする。
- ・熱心に取り組みたい生徒さんは、民間のクラブチームに参加する。
- ・地球環境のことを踏まえ料理のできる部活が増えれば良い。
- ・経済的理由で民間チームに入れない生徒さんには、支援金制度を設ける。
- ・教育と競技力（アスリート育成）については、分けた考え方で進める。
- ・子ども達自らが、何を目指し、目標を設定するかなどの自主的な取組みを促す。
- ・教育からビジネスへ、市内企業への協力要請、市内企業のバックアップ体制の構築
- ・市内高校との合同練習の実施
- ・学校、生徒、指導者にも、メリットがある体制づくり。
- ・市内における隠れた指導者人財の発掘と交流の機会創出
- ・全国大会は無しとし、県大会止まりにする。（全国大会は別組織にて対応）
- ・地域の特色や趣味を活かした人材の登用（サーフィン、釣り、BMX、スケボ一等）
- ・指導員において、元気な高齢者の登用（知識、技術の継承、部活とは違う職業体験）
- ・高齢者との交流（グランドゴルフ等）
- ・地域の子どもは地域で育てる、体制づくり。

【意見交換会にて市民よりいただいた、現状の良いところ】

- ・速やかに部活動地域移行推進協議会が設置され、実施方針が決定された。
- ・費用を掛けずに友達と部活ができる。
- ・学校内の1年生から3年生が交流でき、活動を通じて経験が accrue する。
- ・現在、学校内で部活ができる。
- ・学校の友達と部活ができる。

- ・コンクールや試合があり楽しい。
- ・他学年との関わり合いが持て、人間関係を育てていること。
- ・クラブ活動に対し、自主的、主体的に取り組んでおり、生徒間の人間関係も良い。
- ・先生が居なくても、生徒自らが、主体性的に自ら考えて行動している。
- ・個人の強みを生かし、可能性を引き出すきっかけづくりになっている。
- ・指導力のある教員がいる。
- ・市内4中学、連携が取れている。（同じ歩調で教育を進めている）
- ・スポーツ協会には、14の支部24の競技部があり、地域移行の受け皿となり得る。
- ・文化芸術面については、月見の里学友館の活動が素晴らしい。
- ・スポーツ少年団の活動が充実している。
- ・室内プールやスケートパークなど施設が充実している。
- ・遠州灘など自然を生かした活動ができる。

【意見交換会にて市民よりいただいた、課題】

- ・基本的に入部したら、3年間続けなければいけない。（転部が難しい）
- ・多様な考え方がある中で、部活としての目的をどうやって一致させるのか。
- ・多様な価値観を持った方々の受け皿をどうやって作っていくのか。
- ・先生方の働きた改革、生徒数の減少により、外部に委託されていくその受け皿をどのように作っていくのか。
- ・練習時間が短くなり、十分な練習時間が確保できない。（学校の下校時間後に活動を受け入れてくれる場を作る）
- ・外部に委託するには、財源が必要
- ・自校に希望する部活がない。（生徒さんが主体的に活動できる環境を提供する）
- ・行政における、継続的な支援に向けた、仕組みづくりの必要性
- ・部活動の土日への移行については考え直し、土日は、子どもたちの可能性を広げる時間にすべき。
- ・競技、技術習得、エンジョイ、可能性をどのように引き出して行けるのか。
- ・トップアスリートを目指せる人材の流失（私立高校への進学（特待生））
- ・公平な負担に向け、皆、平等に受けられるシステム作りが必用
- ・地域に移行した場合の移動手段、活動費等の保護者の負担
- ・市内2高校（袋井、袋井商業）との連携
- ・エコパの利用が難しい
- ・土日の部活動から教員が離れないと、現在、学校で求められている教育に取り組むことは難しい。
- ・土日の部活動に取り組むことにより、先生方のプライベートな時間の確保が難しい。

フッピートーク2023で出された意見のまとめ（意見聴取報告書より抜粋）

グループ5・6 参加人数 議員：6人 市民：13人

テーマ：地域の魅力を活かした「稼ぐ力」について

【意見交換会で出た課題に対しての提案】

- ・袋井駅に降りた時に「袋井に来た」と思うような街づくり。（例えば、お茶やメロンなどの特産物をアートと関連させる等）
- ・ICTを活用して、映像などで本市を積極的にPR
- ・東海道の間用地を利用して、「どまんなか同窓会」のようなイベントを開催
- ・油山寺と可睡斎などのイベント強化
- ・子どもを産み育てやすい街づくり。
- ・海プロを充実させるための荒廃農地を活用したプロジェクト
- ・特産品を生かした6次産業品の開発
- ・スポーツ協会並びに商工会、観光協会、市が一緒になって、スポーツツーリズムの機運を盛り上げたい。（ツーリズムの強化）
- ・海の良さをイベント・催し物を通じて、アピールする。
- ・エコパ近くにドーム球場を作る。
- ・海の賑わいとして、スケボーパーク並びにサーフィン、釣り、砂の造形、お正月の初日の出などのメッカ構想
- ・東静岡駅のように、駅近くにアリーナを設ける。
- ・サプライチェーンのサポート、物流のAI化を図る。
- ・市の基幹産業である農業のAI化
- ・耕作放棄地の活用や大規模堆肥場の開設
- ・インフラ交通のAI活用と自動運転化
- ・農業、商業、工業の自由化推進
- ・産・官・学連携による空き家対策（特に高南地区、理工科大学との連携、耐震設計や、国土交通省空き家対策の活用）
- ・旧駿遠線跡地の自転車道の全線整備
- ・外国人とのよりよい共生を図るため、国際交流の「イベント月間」を設ける。
- ・老若男女の人的活用（地域で埋もれている人材の発掘（特に女性））
- ・マンパワー不足の解消として、自治会へのアウトリーチ（必要なサービスを届ける）

【意見交換会にて市民よりいただいた、現状の良いところ】

- ・エコパや遠州三山を利用して観光を進めている。
- ・農産物（米・茶・温室メロン）をブランド化して内外にアピールしている。
- ・自然が豊かである。
- ・イノベーションセンターが活用され、第二次産業が盛んである。

- ・ 京浜、京阪神の中間地点の交通の要所である。
- ・ のびのびとした教育環境が整っている。
- ・ 他市町・県内からの転入、移住が多い。（人が優しい点がいい）
- ・ 子どもが多く、子どもが元気であり、タレント性がある子どもが多い。
- ・ 温暖な気候であり、アクセスも良い。（住むのに適している）
- ・ 若い人が多く、お祭りに熱く、コミセン活動も活発（ボランティア精神旺盛）
- ・ お米や野菜が美味しく、物価が安い。メロンも世界的な評価を受けている。
- ・ 物流の拠点として、県内の中でも人気である。
- ・ 旧駿遠線跡地を利用した自転車道が整備されている。
- ・ 駅から近い距離に田園風景が見られる。
- ・ エコパやエコパアリーナなどのスポーツ施設が数多くあり、スポーツが盛ん。
- ・ e - s p o r t s の育成が進んでいる。

【意見交換会にて市民よりいただいた、課題】

- ・ 法多山、エコパはイベントが多いが、それに対し油山寺と可睡斎のイベントのバランスが悪い。
- ・ 人口は微増しているが、若者の人口減少が問題
- ・ 街の印象に特出したものが無く、住民でも知らないことが多い。
- ・ S D G s を進めていくうえで、再生可能エネルギーの普及や、地産地消の取り組みが遅れている。
- ・ 道路配置を考え、土地の有効活用が図られていない。
- ・ アーケードがある商店街がない。
- ・ 人口減少が進んでいる。
- ・ 地域格差がある。（自治会などのマンパワー不足）
- ・ 人との結びつきが薄くなってきている。
- ・ 子ども会活動が縮小してきている。
- ・ 各種ボランティアの高齢化（スポーツ大会や観光案内）と人手不足
- ・ エコパのオーバーツーリズム（負の影響が出ている）
- ・ 袋井の良さ、立地条件を生かしきれていない。
- ・ 市役所内へ「事業承継課」の設置（農業など産業の担い手不足）
- ・ 農地法規制が強く、産業振興の点でマイナスである。
- ・ 全国への発信力が弱い。
- ・ どこにもあるという街のようで、これといった特徴がない。
- ・ 知名度不足（磐田市に負けている）
- ・ N E X T 産業育成としての物流の発展性が乏しい。
- ・ 有能な人財の転出
- ・ 横断的な市の連携が取れていない。
- ・ ホテル、タクシー・バスの本数などが不足している。
- ・ 外国人との共生が図られていない。

全体を通じた考察

昨年度に引き続き一般市民を対象とした議会報告会（意見交換会）を開催した。

別紙のアンケート結果により、参加者からは議会報告の内容が「わかりやすかった」が 22 人/34 人（64.7%）、意見交換（グループワーク）に参加して「よかった」が 29 人/34 人（85.3%）との回答を得られたことは、議会報告会（意見交換会）としての役割を概ね果たせたものと考えられる。

しかし、参加者の年齢層が 60 代、70 代で 61.7%を占め、若年層が少なく特に 30 代が皆無であった点、フッピートークの開催を何で知ったかなど周知方法にも偏りがあった点参加者の意見として「テーマが大きすぎる」、「しばらく同じテーマで進めたい」、「今回のテーマを深堀したい」などがあった点などは、今後の課題として委員会で検討すべきである。

また、市民参加の議会報告会（意見交換会）でいただいた「防災・減災に関して意識づくりの強化、訓練のバリエーションを増やす」、「学校部活動に関してクラブチームへの支援金、多様な運営とサポート体制作り」、「地域の魅力を活かした「稼ぐ力」に関して I C Tを活用しての積極的な P R、6 次産業品の開発」などのご意見・提案に関しては引き続き、議会から市政への提言及び各議員からの一般質問や委員会での検討を行うなどし、市政に反映されることを市議会としても今後もしっかり組んでいく必要性を感じている。

最後に、議員の資質についてのご意見もいただいているので、自己研鑽に努めて参ります。また、次年度以降も意見交換会を開催し、袋井市議会がより開かれた議会になるよう努めて参りますので、よろしくお願いいたします。